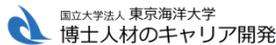


トピックス

- ★ 第5回講義：海洋産業と漁業協調の重要性とは
- ★ 第6回講義：大学院生のためのエントリーシート
- ★ The English version of pamphlets are available now!

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室からのお知らせです。
イベントのお知らせ、事業報告等をお届けしています。



国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

第5回講義内容の報告

第5回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱが、10月24日(木)に開催されました。
「海洋産業への期待」塩原 泰氏 (一般社団法人海洋産業研究会 主席研究員兼研究部長補佐)

最初に司会の松山先生から、今回は博士を取得した先輩OBが、社会でどのように活躍しているかを紹介したいと説明がありました。

続いて塩原氏が登壇し、東京水産大学で魚群生態学を学び、学位を取得した後、海洋産業研究会に就職したこと等について自己紹介がありました。

■ わが国の海洋政策について

日本のE E Zの広さは世界第6位で、国土の12倍の広さがあり、そこには様々な鉱物資源や水産資源が豊富に存在している。また、E E Zには主権的権利が認められており、天然資源の開発と経済的な探査・開発(海水、海流および風からのエネルギーの生産等を含む)ができることと説明がありました。

■ 我が国の海洋産業について

我が国の海洋産業の市場規模は約20兆円と言われており、特に海洋資源開発船舶と洋上風車が急成長すると予測されている。しかし、日本は非常に遅れており世界シェアの1%程度。塩原氏は、このままではE E Z開発を自国の技術で行うことが困難になってしまう恐れがあると危惧されていました。

■ いま注目の海洋産業について

洋上風力発電(浮体式と着床式)におけるわが国と海外の現状、海洋エネルギー開発全般における欧州の状況、および海洋エネルギーの種類(洋上風力、波力、潮流、海流、潮汐、海洋温度差、海水揚水、塩分濃度差)とその熟度についてそれぞれ説明がありました。

■ 海洋産業研究会の活動紹介

海洋産業研究会は、当初から漁業協調型を特徴の一つに掲げていた。H25年5月に同研究会が発表した『洋上風力発電等の漁業協調のあり方に関する提言研究』(委員長は松山先生)でも、当初から発電事業者と漁業者が一つのテーブルで話し合い、漁業協調について一緒に研究してきたそうです。

■ 海洋大学にエール

塩原氏は、海洋に対する国民の期待がかつていないほど高まっていると述べられました。また、必要とされる専門家の育成・輩出を海洋大に期待している、と言って講義を締められました。

最後に、松山先生が「密度の濃い講義をしていただき、それを真剣に聴講し、凄い(鋭い)質問がたくさん出て、皆さん勉強しているなど感心しました。」と感想を述べて講義は終了しました。

【次回の開催予定】

第7回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」は、下記シンポジウムへの参加です!
『ポストドクター・キャリア開発事業シンポジウム2013』(12/10開催)
申し込みが必要です! キャリア開発室のホームページで確認できます。



第6回講義内容の報告

第6回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱが、11月21日(木)に開催されました。
「企業人になるための心構え」齊田育秀氏(株式会社ジャンナッツジャパン)

最初に司会の竹内先生から、今回はエントリーシート提出の解禁時期に合わせて開催したと説明があり、講師である齊田氏の略歴紹介がありました。

続いて齊田氏が登壇し、企業に入ったら「これしかできない!」ではなく、頭を上手に切り替えて楽しく働けるようにする。それが絶対にできないのであれば、大学に残るか、研究機関に勤めることを勧める、と述べられました。

■ 企業人になるための心構え

続いて、海洋大を卒業した政財界の著名人の紹介がありました。海洋大は、食品・水産業界ではエリートであり、自信を持って就職活動に望んで欲しいと述べられました。また、就職や入社後の心構え等についての解説があり、食品会社を例に、企業が研究者に求めるものについての説明がありました。

■ エントリーシートと面接のポイント

エントリーシートは、あるレベル以上でなければ、どんなに優秀な人でも最初に落とされてしまうことを強調されていました。また、面接官は特に人間性(人間的魅力)を一番見ている。受かる人はどこでも受かり、落ちる人はどこを受けても落ちることを知って欲しい、と述べられました。

■ 学生時代に是非やっておいて欲しいこと

社会に出たら、絶対に嘘をついてはいけません。特に自分に対して嘘をついてはいけません。でも、「要領」は許されることも知っておいて欲しいと述べられました。

続いて、齊田氏自身が学生時代に借金までしてヨーロッパを回って来たことなどが紹介され、後の人間形成や仕事の上で、もの凄く役に立っていると述べて講義を締められました。

最後に竹内先生から、「大学院に進学するとエントリーシートの書き方等を勉強する機会が無いので、今回は齊田氏にお話ししていただく機会を設けた」と述べて講義は終了しました。

※各講義内容の詳細は、ホームページからも読むことができます。



キャリア相談のご紹介

■ キャリア開発室のホームページからパンフレットをご覧ください。
(The English version of leaflet is available.)

長期インターンシップの状況報告

■ PD1名の方が11月末日で3か月間の研修を修了されました。

次回のワークショップ(1月開催予定)で体験談を語って頂く予定です。ご期待ください!

■ あなたも、長期インターンシップに応募してみませんか?【募集中】

The English version of pamphlet has been released on the website!

キャリア開発室からのご挨拶

急に寒くなって来ましたので、健康には十分に気を付けてくださいね!

キャリア開発室では、留学生の皆さんにも利用してもらえるように、英語版資料の充実を進めています。今後も魅力的なプログラムの企画・開催を継続していきますのでご期待ください。

※要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。